

バングラデシュ北東部ハオール地域気候変動適応化農業普及プロジェクト

活動地域  バングラデシュ



農民研修の様子

課題

気候変動により不安定になっている自然災害（フラッシュフラッド・冷害）に対する農業支援（新品種の導入と作付け体系の見直し）。

目標

ハオール地域で気候変動適応型農業（新品種の導入・作付け体系の見直し）が実証され普及する。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

災害に強い新品種米の導入と年間を通じた作付け体系の見直しにより、災害の多いハオール地域の農民のレジリエンスを高める活動。

本年度は国立稲作研究所（BRRI）から無償で新品種種子を配布するとともに栽培方法を研修。あわせて乾期の灌漑と農作物搬送のための農道建設を行った。

結果、この地域で初めて雨期に稲を収穫した他、乾期稲作ではかなりの収穫増が見込まれている。また活動は複数のメディアで取り上げられた。



雨期稲作のため、袋の上で稲代を作る

水路の掘削と農道整備 **300 m**

稲作研修への参加農民数 **100 人**

今年度計画の達成度 **100 %**

目標達成度 **35 %**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

新型コロナウイルス蔓延の影響で外出禁止令が発出されたことで、フィールド訪問に苦勞した。人件費・交通費の高騰。

■ 工夫した点

携帯電話の活用や早朝の訪問などで農民とのつながりを維持した。



Srabon Villa, House No. 5485/3, Rajnagar R/A, Habigonj-3300, Bangladesh
HP: www.asedbd.org



今後の展望

年度末から再度新型コロナウイルスの蔓延が厳しくなっており、ロックダウンの可能性が高い。1年次の経験を踏まえ、農民とのやり取りを工夫しながら努めていく。また中央行政へ働きかけ行政からの協力を取り付ける。